

令和5年度経営目標達成状況 大牟田市公共下水道事業経営戦略

令和5年度決算に基づき、経営戦略に掲げる経営目標の進捗状況について検証・評価を行いました。

基本理念	環境にやさしい快適な暮らしと災害に備えるまちづくりを支える下水道
基本指針	<p>生活排水対策の推進 下水道及び浄化槽による適切な役割分担のもと、効率的な汚水処理施設の普及促進に取り組みます。水洗化を促進するための支援制度の充実を図るとともに、生活環境に対する市民理解を深めるための広報啓発に取り組みます。</p> <p>防災基盤の強化 雨水を排除するポンプ場等の下水道施設の整備を進めるとともに、老朽化した施設の計画的な改築更新と適切な維持管理により、浸水被害の未然防止と浸水緩和に取り組み</p> <p>安定した下水道サービスの持続 流入水から処理水まで、処理工程の水質管理を徹底し、公共用水域の水質保全を図ります。施設の適切な維持管理のため、その状況を把握、評価し、長期的な視点による下水道施設の効率的な改築更新を行います。さらに、将来にわたり持続する事業運営を可能とするため、経営基盤の強化に取り組み、下水道事業への市民理解を深めるため、情</p>
経営目標	<p>①下水道処理人口普及率の向上 ～年間2ポイント以上～ 経営目標として掲げた指標に対応する重点的に取り組む施策 ①未普及地域の整備促進</p> <p>②雨水排除機能の向上 ～下水道施設の耐水化及び雨水ポンプ場の機能強化～ 経営目標として掲げた指標に対応する重点的に取り組む施策 ③施設の改築更新と長寿命化対策 ④雨水対策</p> <p>③経常収支比率の向上 ～年間1ポイント以上～ 経営目標として掲げた指標に対応する重点的に取り組む施策 ②水洗化の普及促進</p>

達成
状況

経営目標①	下水道処理人口普及率の向上							
目標値	年間2ポイント以上							
重点的に取り組む施策	①未普及地域の整備促進							
事業名	公共下水道污水管渠整備事業					決算額	1,269,520	千円
事業の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・吉野、勝立、藤田処理系統などにおいて、下水道管の幹線及び枝線の埋設工事を実施し、面整備を行いました。 ・整備面積32.80ha（累計1994.97ha） 							
達成状況	未達	1.3ポイント上昇	R3	R4	R5	R6	R7	R8
			71.0%	72.3%	73.6%			
<p>硬質岩盤の出現や交通規制等の地域への影響に配慮した発注時期の調整のため、一部の工事が繰越工事となり、下水道処理人口普及率は1.3ポイントの上昇にとどまりました。</p> <p>下水道処理人口普及率の向上のため、下水道の更なる整備促進が必要ですが、未整備地区が市内中心部から郊外へシフトし、人口密度が低い地域の整備となっていくことから、下水道整備効果を最大限に発現させるため、合併処理浄化槽との役割分担（区域のすみわけ）について最適化を図りながら、計画的かつ効率的な整備を進めていきます。</p>								

経営目標②	雨水排除機能の向上							
目標値	下水道施設の耐水化及び雨水ポンプ場の機能強化							
重点的に取り組む施策	③施設の改築更新と長寿命化対策							
事業名	下水道施設(処理場、ポンプ場)改築更新事業(雨水)					決算額	121,678	千円
事業の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・浜田町ポンプ場（1設備）、明治ポンプ場（4設備）の雨水設備更新及び長寿命化工事を実施しました。 							
重点的に取り組む施策	④雨水対策							
事業名	公共下水道雨水対策事業					決算額	285,260	千円
事業の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・三川ポンプ場整備について、土木工事を進めるとともに、機械・電気工設備工事に着手しました。 ・大黒町スクリーン簡易除塵機設置工事に着手しました。 							
事業名	公共下水道白川排水区整備事業(第2期)					決算額	18,994	千円
事業の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道事業計画に基づき、白川排水区の雨水整備を図るため、関係機関との協議を進め、白川排水区実施設計業務委託を行いました。 							
達成状況	達成	下水道施設の耐水化及び雨水ポンプ場設備更新・整備工事実施						
	<p>公共下水道事業計画や下水道ストックマネジメント計画に基づき、概ね順調に事業を進めていますが、近年の物価高騰や全世界的な半導体不足、関係機関との協議調整などが要因となり、適正な工期の確保や円滑な工事実施が難しい局面も生じています。</p> <p>早期の発注に努め、計画的かつ効率的な雨水対策事業の推進に取り組めます。</p>							

経営目標③	経常収支比率の向上							
目標値	年間1ポイント以上							
重点的に取り組む施策	②水洗化の普及促進							
事業名	水洗化普及促進事業					決算額	60,004	千円
事業の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・水洗化戸数892戸（目標値；1,400戸） ・環境部と連携を図り、未水洗化家屋（特に義務期間経過家屋）の戸別訪問を延べ4,405件実施し、水洗化を検討されている方に対して、し尿手数料と下水道使用料等を比較した水洗化診断書を用いて、アドバイスを行いました。また、新たに拡充を行った経済的な支援制度等の周知を行いました。 							
達成状況	未達	3.5ポイント下降	R3	R4	R5	R6	R7	R8
			118.2%	119.3%	115.8%			
<p>水洗化率が1.6ポイント向上（72.1%→73.7%）したこと等により、下水道使用料は増収となったものの、下水処理場等の包括的維持管理業務委託が4期目となり委託料が増加したため、経常収支比率は3.5ポイント下降しました。</p>								